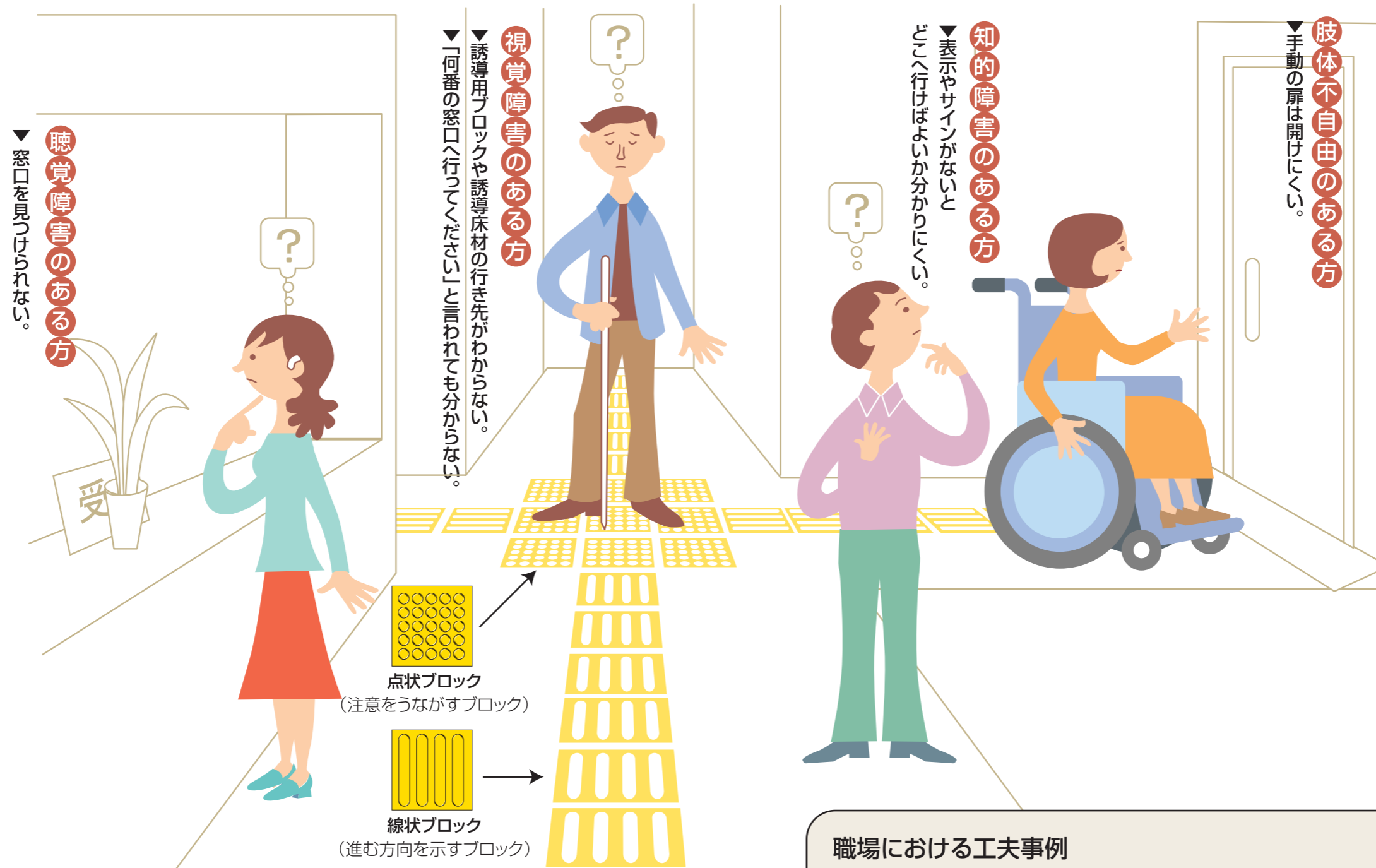


誘導



☆共通的な配慮

- ★車いすでも移動できるよう段差のない十分な移動スペースを確保します。
- ★誘導が必要かどうか、直接本人にたずねます。
- ★分かりやすいサイン表示（はっきりしたコントラスト、漢字にふりがな、図やサインの併記等）により、目的の場所を見つけやすくします。
- ★誘導用ブロック上はもとより、廊下等の歩行空間には、通行に支障をきたす物を置かないようにします。誘導用ブロックの上で立ち止まる方も多いため、歩行の邪魔にならないよう他の利用者にも配慮を促します。
- ★雨天時に濡れた床で滑らないよう、濡れた床面は早めに拭き取ります。

☆障害種別の配慮

- ★視覚障害のある方の移動を介助する場合は、その方との背の高さの関係で肘（ひじ）肩または手首を軽く握ってもらい、誘導する側が半歩先に立って歩きます。階段や段差の手前では「上りです」「下りです」と声をかけます。
- ★車いす使用の方にとって、車いすは身体の一部のように感じているので、勝手に車いすを押したりせず、誘導の介助を希望されるかどうか、必ず、本人の意向を確認してから誘導介助を行います。

詳しくは参考資料 P25

職場における工夫事例

【視覚障害のある方】

- ・音声・音響による案内の設置。
- ・階段や廊下の手すりへの点字シールの貼付。
- ・立体的な触知図の表示。（写真下）



【知的障害のある方】

- ・漢字にふりがなをふった表示。（写真下）

11	障害保健福祉部長室 しょうがいほけんふくしぶちょうしつ
	企画課 きかくか
12	企画課 社会参加推進室 きかくか しゃかいさんかすいしんしつ
13	企画課 監査指導室 きかくか かんさしどうしつ
14	企画課 国立施設管理室 きかくか こくりつしせつかんりしつ
15	障害福祉課 しょうがいふくしが
16	精神保健福祉課 せいしんほけんふくしが
17	障害保健福祉部会議室 しょうがいほけんふくしぶかいぎしつ
18	共用第7会議室

中央合同庁舎5号館